



FY2026 Q1

2026年度 第1四半期 決算説明会資料

2026年8月7日

1. 2026年度 第1四半期実績

2. 2026年度 通期業績予想

3. 参考資料



1

2026年度 第1四半期実績

2026年度 第1四半期実績

2026年度 第1四半期実績

(単位:億円)

	FY2025 1Q実績*1	FY2026 1Q実績	前年同期比
売上高	1,818	1,798	▲20
事業利益	55	96	+41
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	31	56	+24

売上高 1,798億円 前年同期比 ▲20億円

植物性油脂事業は増収も、業務用チョコレート事業ブラマーにおける原材料価格下落に伴う販売価格低下により減収。

事業利益 96億円 前年同期比 +41億円

業務用チョコレート事業ブラマーでのカカオに関連した特殊要因(以下、カカオ特殊要因)の費用減少や、大豆加工素材事業でのプロテイン需要の拡大を捉えた販売数量増加を主因に増益。

親会社の所有者に帰属する

四半期利益 56億円 前年同期比 +24億円

ブラマーでのカカオ特殊要因の費用減少や大豆加工素材事業の事業利益伸長により増益。

* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。

*1 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

2026年度 第1四半期実績／事業別

2026年度 第1四半期実績／事業別

(単位:億円)

	FY2025 1Q実績*1	FY2026 1Q実績	前年同期比
売上高	1,818	1,798	▲20
植物性油脂事業	632	719	+87
業務用チョコレート事業	876	754	▲123
乳化・発酵素材事業	225	235	+10
大豆加工素材事業	85	91	+6
事業利益	55	96	+41
植物性油脂事業	89	84	▲5
業務用チョコレート事業	▲33	5	+38
乳化・発酵素材事業	1	1	+0
大豆加工素材事業	▲0	7	+7
連結調整	▲1	▲1	+0

事業別 事業利益



植物性油脂

- ・チョコレート用油脂(CBE)の販売は堅調に推移。
- ・原材料価格安定による利益が前年同期から縮小。



業務用チョコレート

- ・ブラマーではカカオ特殊要因の費用減少に加え、コンパウンド製品の販売数量が伸長。
- ・ブラジルでは価格改定により収益性が向上。



乳化・発酵素材

- ・日本ではクリームやマーガリンの販売数量が増加。
- ・アジアでは市況低迷の影響が継続。



大豆加工素材

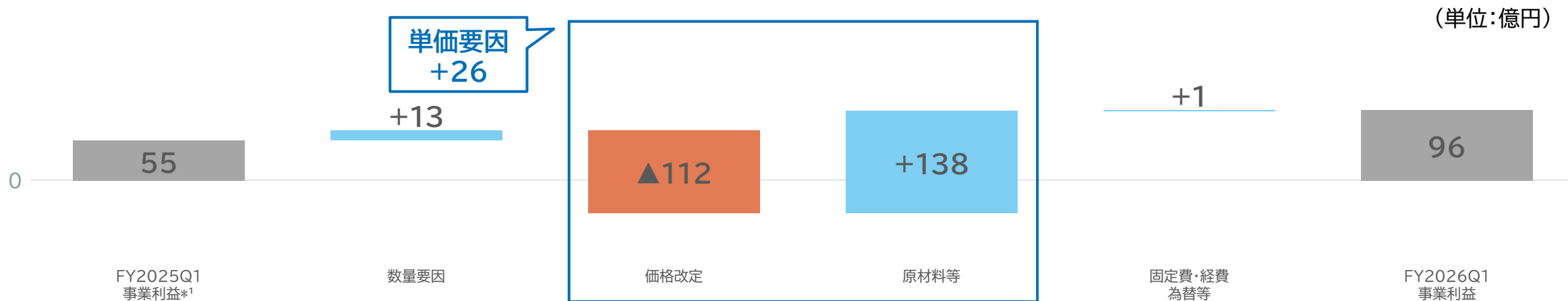
- ・提案強化、品質改良によりプロテイン需要の拡大を捉え、大豆たん白素材の販売数量が増加。

* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。

*1 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

2026年度 第1四半期 事業利益増減分析

前年同期比 事業利益増減分析



数量要因	植物性油脂事業のチョコレート用油脂(CBE)や大豆加工素材事業の大豆たん白素材の販売数量増加。
単価要因	ブラマーにおけるカカオ相場下落に伴う販売価格の低下はあるも、カカオ特殊要因の費用が減少。
固定費・経費・為替等	人件費等の固定費が上昇も、為替円安に伴い増益。

*1 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

植物性油脂事業 / 乳化・発酵素材事業 / 大豆加工素材事業

不二製油株式会社



植物性油脂事業

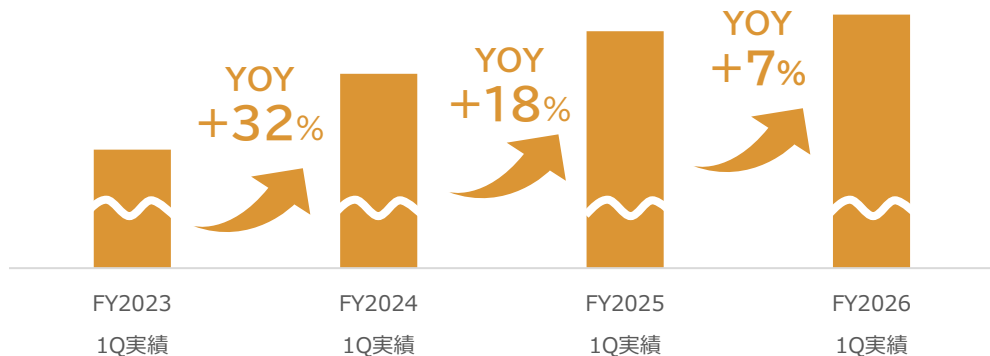
FY2026Q1 事業利益 84億円（前年同期比 ▲5 億円）

チョコレート用油脂(CBE)の需要は引き続き堅調、販売数量は高水準で推移。

エリア別動向

- 日本** 顧客での採用拡大によりCBEの販売数量が増加。
- 欧米** 米州では、顧客での採用拡大によりCBEの販売数量が増加。
- アジア** CBEの需要は継続も、顧客の在庫調整により販売数量は減少。

チョコレート用油脂(CBE)販売数量推移
(不二製油グループ会社向けの販売を含む)



乳化・発酵素材事業

FY2026Q1 事業利益 1億円（前年同期比 +0 億円）

市場動向を捉えた製品提案により、日本で販売数量が増加。原材料価格は上昇したが各エリアで価格対応が進捗。

エリア別動向

- 日本** 製菓・製パン市場を中心に、クリームやマーガリンの販売数量が伸長。
- アジア** 市況低迷による影響があるが、販売価格の適正化を推進。



大豆加工素材事業

FY2026Q1 事業利益 7億円（前年同期比 +7 億円）

提案強化、品質改良によりプロテイン需要の拡大を捉え、大豆たん白素材製品の販売が拡大。

エリア別動向

- 日本** 需要拡大を捉えた提案強化、品質改良により販売数量が増加。
- アジア** 中国において機能剤の販売数量が増加。

業務用チョコレート事業

ブラマーではカカオ特殊要因の縮小が進み、損失が改善。下期からの新工場稼働開始に合わせ、拡販を推進。

FY2026Q1 事業利益 5 億円（前年同期比 +38 億円）

エリア別動向

日本

カカオ関連の高値在庫の影響は残るが、新工場の生産能力を活用した拡販を推進する。

欧米

ブラジルではコンパウンドチョコレートの需要は堅調も、販売数量は減少。価格対応により収益性は改善。

アジア

コンパウンドチョコレートの需要が堅調に推移し、販売数量が増加。



（日本）
2026年5月より
新工場の稼働が開始



（日本）
新製品：ソワイユショコラ
深みのあるカカオ風味と
使いやすさを兼ね備えた
新しいソフトチョコ



（ブラジル）
閑散期における販売促進のため
キャンペーンを実施

ブラマー 業績

第1四半期はカカオ特殊要因（先物限月乗換コスト）の影響が残ったが、前年同期比では損失が縮小し、事業利益は大幅改善。

（単位：億円）

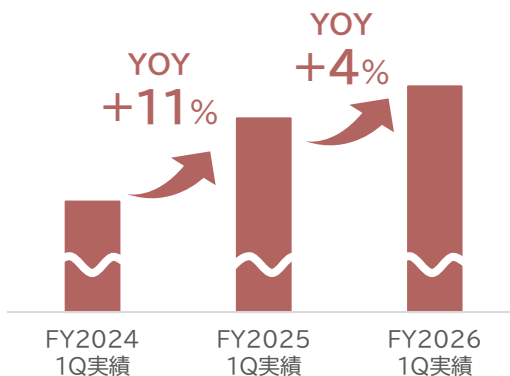
	FY2025 1Q実績	FY2026 1Q実績	前年同期比
売上高	500	344	▲156
事業利益*1	▲54	▲15	+39

*1 連結調整前の数値。

ブラマー 販売動向

市況低迷により前年割れが続いていたブラマーのチョコレート製品販売数量は、今第1四半期に前年同期比で増加に転じた。

コンパウンド製品 販売数量



（ブラマー）
2026年度下期の新設備稼働に向け、
販売契約が進捗

B/S、C/F

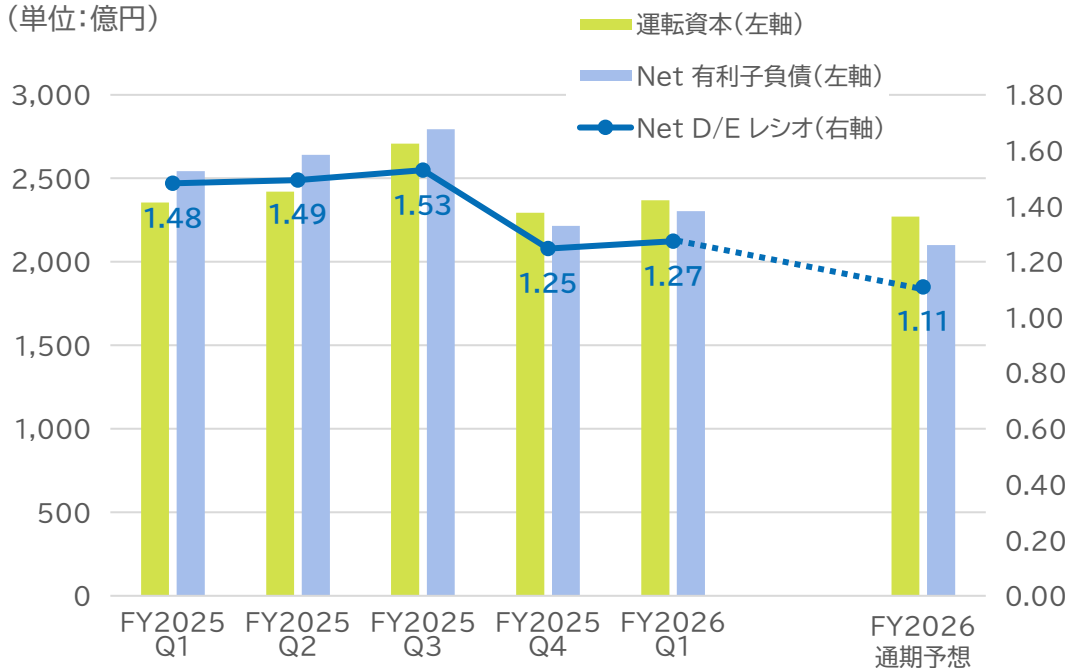
運転資本、Net有利子負債は微増も、フリーキャッシュフローは着実に改善。

B/S

(前期末比)

設備投資や運転資本の増加に伴い、Net有利子負債が増加。
引き続き運転資本の効率化とNet有利子負債の削減を進める。

(単位:億円)

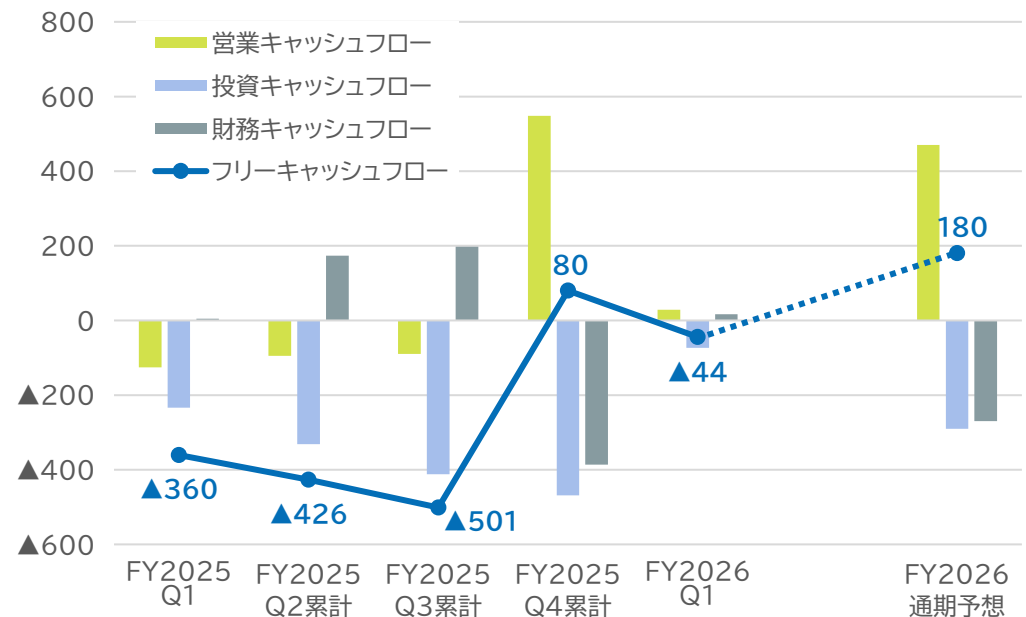


C/F

(前年同期比)

運転資本は増加したものの、利益の伸長等により営業キャッシュフローはプラスを確保。投資キャッシュフローは前第1四半期に実施した新規連結子会社取得の反動により支出が減少。

(単位:億円)



1. 2026年度 第1四半期実績

第1四半期:売上高・事業利益(事業別・所在地別マトリクス)

不二製油株式会社

(単位:百万円)

売上高	年度	日本		欧米		アジア		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	2026 1Q実績 (IFRS)	18,218	▲772	39,243	+6,890	14,406	+2,553	71,869	+8,671
	2025 1Q実績 (IFRS)	18,990	+4,823	32,353	+7,800	11,853	+2,885	63,197	+15,509
	2024 1Q実績 (IFRS)	14,167	-	24,552	-	8,968	-	47,688	-
業務用 チョコレート	2026 1Q実績 (IFRS)	15,647	▲359	48,898	▲13,321	10,816	+1,400	75,362	▲12,279
	2025 1Q実績 (IFRS)	16,006	+4,126	62,220	+8,887	9,415	+1,054	87,641	+14,068
	2024 1Q実績 (IFRS)	11,879	-	53,332	-	8,360	-	73,573	-
乳化・発酵素材	2026 1Q実績 (IFRS)	15,619	+578	-	-	7,893	+447	23,513	+1,026
	2025 1Q実績 (IFRS)	15,040	+451	-	-	7,446	▲130	22,486	+320
	2024 1Q実績 (IFRS)	14,589	-	-	-	7,576	-	22,166	-
大豆加工素材	2026 1Q実績 (IFRS)	8,818	+476	17	+17	225	+63	9,062	+557
	2025 1Q実績 (IFRS)	8,342	▲410	-	-	161	▲23	8,504	▲433
	2024 1Q実績 (IFRS)	8,753	-	-	-	185	-	8,938	-
売上高計	2026 1Q実績 (IFRS)	58,303	▲76	88,160	▲6,413	33,342	+4,465	179,807	▲2,024
	2025 1Q実績 (IFRS)	58,380	+8,991	94,573	+16,688	28,876	+3,785	181,831	+29,465
	2024 1Q実績 (IFRS)	49,389	-	77,885	-	25,091	-	152,366	-

事業利益	年度	日本		欧米		アジア		連結調整		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	2026 1Q実績 (IFRS)	2,772	▲172	3,164	+164	2,210	▲952	210	+459	8,356	▲501
	2025 1Q実績 (IFRS)	2,944	+1,755	3,000	+671	3,162	+1,714	▲249	+139	8,858	+4,281
	2024 1Q実績 (IFRS)	1,189	-	2,328	-	1,447	-	▲388	-	4,576	-
業務用 チョコレート	2026 1Q実績 (IFRS)	851	▲1,006	▲1,324	+4,374	696	+237	251	+173	475	+3,777
	2025 1Q実績 (IFRS)	1,857	+363	▲5,698	▲6,658	459	▲381	78	+114	▲3,302	▲6,562
	2024 1Q実績 (IFRS)	1,494	-	960	-	840	-	▲35	-	3,259	-
乳化・発酵素材	2026 1Q実績 (IFRS)	306	+53	-	-	▲207	+86	13	▲97	112	+42
	2025 1Q実績 (IFRS)	252	▲287	-	-	▲294	▲333	111	+164	70	▲456
	2024 1Q実績 (IFRS)	540	-	-	-	39	-	▲52	-	527	-
大豆加工素材	2026 1Q実績 (IFRS)	761	+596	▲187	+17	189	+102	▲67	+7	695	+723
	2025 1Q実績 (IFRS)	164	+48	▲204	+1	87	+1	▲75	▲76	▲27	▲25
	2024 1Q実績 (IFRS)	115	-	▲205	-	86	-	1	-	▲2	-
連結調整	2026 1Q実績 (IFRS)	▲9	+36	▲149	▲158	▲19	+119	121	+37	▲56	+34
	2025 1Q実績 (IFRS)	▲45	▲31	8	+117	▲138	▲146	84	▲15	▲91	▲76
	2024 1Q実績 (IFRS)	▲14	-	▲108	-	7	-	100	-	▲14	-
事業利益計	2026 1Q実績 (IFRS)	4,681	▲492	1,503	+4,397	2,869	▲407	529	+579	9,584	+4,076
	2025 1Q実績 (IFRS)	5,174	+1,848	▲2,893	▲5,868	3,276	+855	▲50	+325	5,508	▲2,838
	2024 1Q実績 (IFRS)	3,325	-	2,974	-	2,421	-	▲375	-	8,346	-

* 2025年度より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用。2024年度実績はIFRSベースに組み替えて表示。

* 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。



2

2026年度 通期業績予想

2026年度 通期業績予想

植物性油脂事業、大豆加工素材事業が堅調に推移し、全体として想定を上回る進捗。

通期業績予想

2026年度通期は、植物性油脂事業におけるチョコレート用油脂(CBE)の堅調な販売の継続に加え、米国ブラマーでのカカオ特殊要因の費用減少やコンパウンド製品の伸長により、収益性の向上を図る。第1四半期時点では中東情勢による大きなリスクは発現しておらず、今後の影響は限定的と見込む。

(単位:億円)

	FY2025実績	FY2026予想	前期比
売上高	7,723	7,540	▲183
事業利益	360	375	+15
親会社の所有者に帰属する 当期利益	111	195	+84

第2四半期以降の見通し

植物性油脂

チョコレート用油脂(CBE)の堅調な販売により、安定した利益確保を見込む。

業務用 チョコレート

ブラマーのカカオ特殊要因の費用減少や、グループ各社での販売拡大に加え、高値在庫の消化により収益性改善を見込む。

乳化・ 発酵素材

日本では堅調な販売数量を見込む中、コストアップへの対応を進める。海外では市場環境の変化に対応し、販売・製造の最適化や販売戦略の再構築を推進。

大豆 加工素材

プロテイン需要の拡大を捉えた提案強化や、品質改良により収益向上を見込む。

3

参考資料

参考情報

為替レート

		2025年度 1Q	2025年度 期末	2026年度 1Q	前期比		2026年度 予想前提
					差	増減率	
\$	P/L	144.59	150.77	159.49	+14.90	+10.3%	153.00
	B/S	144.81	159.88	162.39	+2.51	+1.6%	-
BRL	P/L	25.53	27.76	31.60	+6.07	+23.8%	28.80
	B/S	26.54	30.63	31.37	+0.74	+2.4%	-
€	P/L	163.80	174.79	185.39	+21.59	+13.2%	177.00
	B/S	169.66	183.41	185.35	+1.94	+1.1%	-
人民 元	P/L	19.99	21.25	23.43	+3.44	+17.2%	21.50
	B/S	20.19	23.11	23.87	+0.76	+3.3%	-

・P/L:期中平均レート、B/S:期末レート

・P/Lは前年同期、B/Sは前年度期末(2025年度期末)を比較

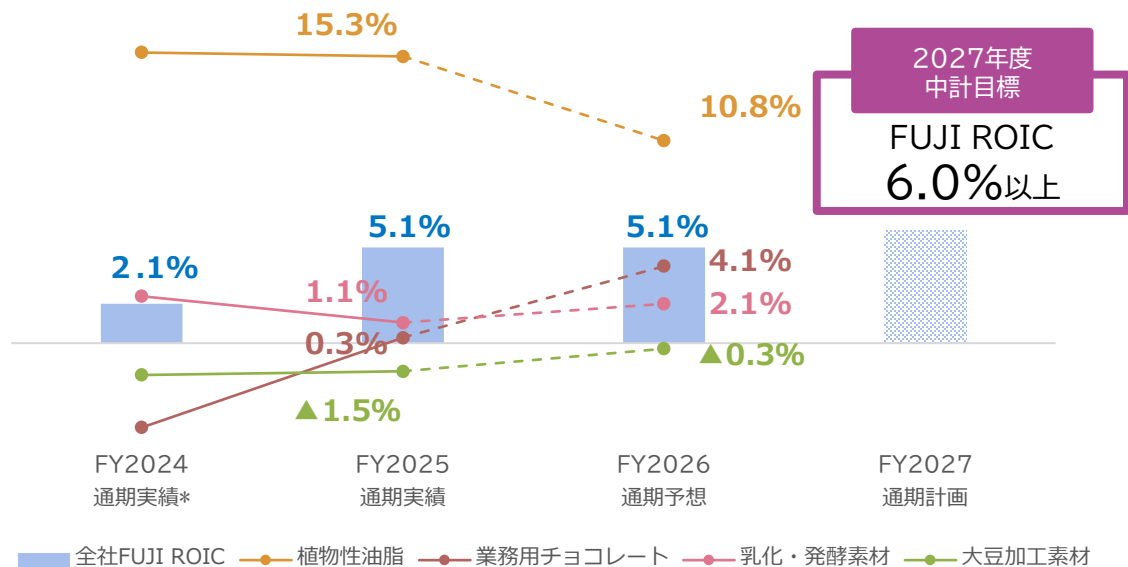
設備投資額

(単位:億円)

	FY2025 累計	FY2026 1Q
植物性油脂事業	75	14
業務用チョコレート事業	136	73
乳化・発酵素材事業	41	7
大豆加工素材事業	32	3
全社計	292	100

FUJI ROIC

FUJI ROIC 税引後事業利益÷(運転資本+固定資産+持分法投資)	FY2025 1Q	FY2026 1Q
植物性油脂事業	4.4%	3.5%
業務用チョコレート事業	▲1.1%	0.0%
乳化・発酵素材事業	▲0.1%	0.1%
大豆加工素材事業	0.1%	1.4%
全社計	0.8%	1.3%



* 2025年度からのIFRS任意適用に伴い、FUJI ROICの算出式を変更。
2024年度実績は、IFRSベースの事業利益に組み替えて算出。

事業別業績推移



植物性油脂

(単位:億円)

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	290	492	457	477	632	719
2Q	326	522	471	490	687	
3Q	347	523	469	550	698	
4Q	385	498	457	556	694	
通期	1,350	2,034	1,854	2,073	2,711	719

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	21	16	31	44	89	84
2Q	22	17	44	64	95	
3Q	14	19	42	72	83	
4Q	17	18	37	82	67	
通期	74	70	154	263	334	84



業務用チョコレート

(単位:億円)

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	417	479	550	736	876	754
2Q	459	576	616	823	927	
3Q	502	619	701	861	1,023	
4Q	477	611	667	927	883	
通期	1,855	2,285	2,534	3,347	3,709	754

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	11	10	4	29	▲33	5
2Q	17	17	3	▲95	▲2	
3Q	24	14	▲10	▲113	49	
4Q	23	9	21	21	10	
通期	75	50	18	▲158	24	5

* 2021年度～2024年度は、日本基準の営業利益。2025年度以降はIFRSでの事業利益。
 * 2024年度まで全社費用としてセグメントに配分していないグループ管理費用を、2025年度よりセグメントに配分して記載。
 * 上記の業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。
 * 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

事業別業績推移



乳化・発酵素材

(単位:億円)

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	190	225	215	221	225	235
2Q	187	221	222	231	244	
3Q	218	252	243	259	265	
4Q	197	214	220	230	240	
通期	791	912	899	942	974	235

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	7	2	6	9	1	1
2Q	3	▲2	9	9	4	
3Q	7	9	16	13	9	
4Q	▲0	6	8	4	▲2	
通期	16	15	38	34	11	1



大豆加工素材

(単位:億円)

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	90	83	89	90	85	91
2Q	85	86	91	91	80	
3Q	86	89	92	89	85	
4Q	80	85	83	81	78	
通期	342	343	355	351	329	91

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	11	6	4	3	▲0	7
2Q	6	4	6	5	1	
3Q	3	4	3	▲0	▲3	
4Q	0	▲1	▲2	▲1	▲6	
通期	21	13	10	7	▲9	7

* 2021年度～2024年度は、日本基準の営業利益。2025年度以降はIFRSでの事業利益。
 * 2024年度まで全社費用としてセグメントに配分していないグループ管理費用を、2025年度よりセグメントに配分して記載。
 * 上記の業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。

主要指標(PL項目)

主要指標

大項目	項目	単位	備考	FY2025	FY2026(累計実績)				FY2026 予想
					1Q	2Q	3Q	4Q	
PL項目	事業利益	億円		360	96				375
	事業利益成長率	%		171.8%	74.0%				4.0%
	EBITDA	億円		512	145				-
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	292	100				-
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	174	45				-
	ROA	%	税引前当期利益÷総資産	3.8%	* ¹ 4.7%				4.7%
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率 ×財務レバレッジ	5.0%	9.1%				7.9%
	売上高純利益率	%	親会社の所有者に帰属する当期利益÷売上高	1.4%	3.1%				-
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.25	1.12				-
	財務レバレッジ	倍	総資産÷親会社の所有者に帰属する持分	2.7	2.6				-
	ROIC	%	営業利益×(1-法人税率)÷(期末株主資本+有利子負債)	4.1%	4.7%				-
	EPS	円		129.60	64.81				226.79

* 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示。

*¹ ROA、ROE、ROIC:年間換算した参考値を記載。

主要指標(BS・CF項目)

主要指標

大項目	項目	単位	備考	FY2025	FY2026(累計実績)				FY2026 予想
					1Q	2Q	3Q	4Q	
BS項目	総資産	億円		6,369	6,438				6,030
	有利子負債	億円		2,684	2,737				2,480
	NET有利子負債	億円		2,216	2,304				2,100
	運転資本	億円		2,294	2,368				2,270
	NET運転資本	億円	流動資産-流動負債	1,017	1,135				-
	親会社所有者帰属持分比率	%	自己資本比率	37.7%	38.5%				42.0%
	負債比率	%		163.4%	158.4%				-
	D/Eレシオ	倍	有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分	1.12	1.11				0.99
CF項目	Net D/Eレシオ	倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金)÷株主資本* ¹	1.25	1.27				1.11
	営業キャッシュフロー	億円		548	29				470
	投資キャッシュフロー	億円		▲468	▲73				▲290
	フリーキャッシュフロー	億円		80	▲44				180
	財務キャッシュフロー	億円		▲386	16				▲270
	CCC	日		108	120				110

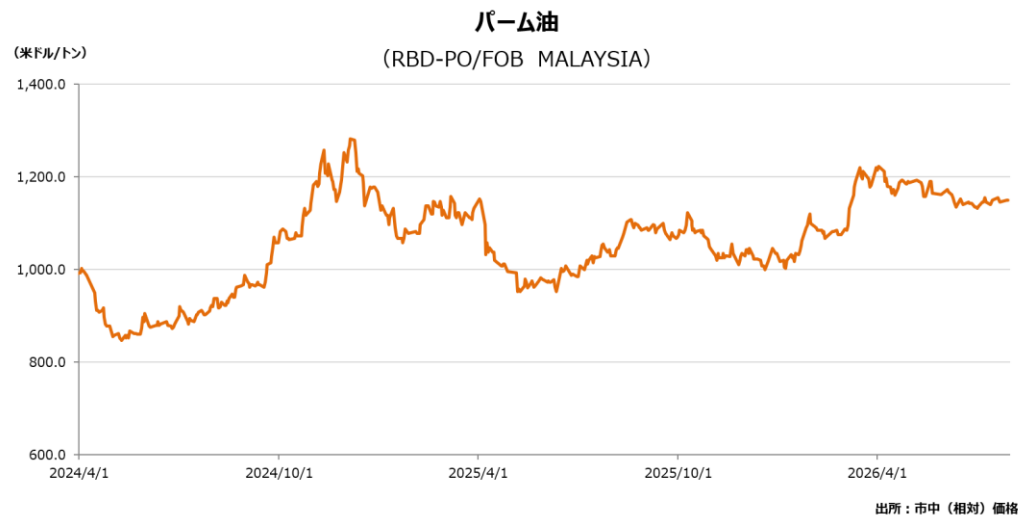
* 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示。
*¹ 株主資本:親会社の所有者に帰属する持分 - その他の資本の構成要素

主要製品群の販売数量推移(前年同期比)

セグメント	エリア	製品群	FY2025 実績(四半期3カ月間の比較)					FY2026 実績(四半期3カ月間の比較)				
			1Q	2Q	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂 (CBE、CBR、CBS)	102%	106%	110%	110%	107%	113%				
	米州		76%	101%	62%	87%	81%	167%				
	東南アジア		108%	77%	93%	92%	92%	88%				
	欧州		112%	110%	98%	120%	110%	76%				
業務用 チョコレート	日本	チョコレート	100%	97%	100%	95%	98%	96%				
	米州(ブラジル)		125%	104%	107%	84%	102%	89%				
	東南アジア		96%	100%	107%	110%	103%	119%				
	中国		96%	103%	106%	143%	111%	84%				
	欧州		94%	108%	87%	114%	100%	95%				
	合計(ブラマー除く)		105%	102%	103%	97%	101%	99%				
	ブラマー		88%	88%	90%	90%	89%	101%				
	合計(ブラマー含む)		99%	97%	99%	95%	98%	99%				
乳化・発酵素材	日本	クリーム	101%	104%	101%	103%	102%	108%				
		マーガリン ショートニング	96%	96%	96%	98%	96%	104%				
	東南アジア	クリーム	86%	101%	91%	85%	91%	140%				
	中国	マーガリン ショートニング	117%	117%	81%	119%	106%	87%				
		フィリング	93%	98%	94%	92%	94%	85%				
大豆加工素材	日本	大豆たん白素材	99%	94%	103%	99%	99%	104%				
		機能剤	89%	83%	79%	81%	83%	107%				

* 製品区分の見直し等により、過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき記載。
* 2026年度よりブラマーのカカオ製品を除き集計。過年度の実績値も遡及修正後の数値で記載。

主要原料推移（～2026年7月末）



市況

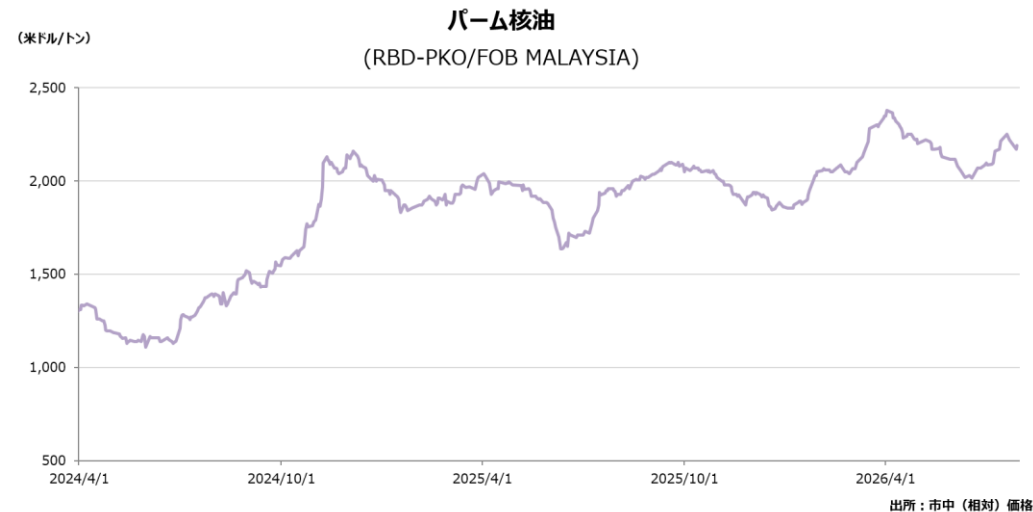
中東情勢を背景とした原油相場の変動、バイオ燃料用途での需要増加、エルニーニョによる減産懸念により、パーム油価格は高水準で推移。

(強材料)

中東情勢に伴う原油価格高騰による連れ高。
エルニーニョ発生による減産懸念。

(弱材料)

マレーシアパーム油在庫の積み上がり。



市況

ヤシ油の生産回復を背景に一時的な調整局面はあったものの、底堅い需要に加え、中東情勢の緊迫化に伴う原油相場の変動やパーム油相場の高止まりを受け、パーム核油相場は概ね高水準で推移。

(強材料)

エルニーニョ発生による減産懸念。

(弱材料)

ヤシ油相場を意識した上値抑制。
マレーシアパーム油在庫の積み上がり。

主要原料推移（～2026年7月末）



市況

エルニーニョの懸念により相場が上昇。一方で供給量の増加や需要の減少が懸念されたことで相場が下落するなど、ボラティリティの高い展開が続く。

（強材料）

エルニーニョ発生による減産懸念。
チョコレート需要回復の見通し。

（弱材料）

南米産カカオの潤沢な供給継続。



市況

良好な作柄と増産が見込まれるものの、エルニーニョの懸念、原油高、中国の米国産大豆輸入拡大などの要因が強く、相場は上昇。

（強材料）

エルニーニョ発生による供給懸念。
中国による米国大豆の買付拡大。

（弱材料）

良好な米国大豆の作柄、増産。

主なトピックス、ピックアップ

パーム油サプライチェーンの取り組みが評価され AREA 2026 を受賞



不二製油株式会社は、Asia Responsible Enterprise Awards 2026 (AREA 2026)において、当社が推進する労働環境改善プログラム「Labor Transformation Program (LTP)」が、パーム油サプライチェーンにおける実効性ある取り組みとして高く評価され、Social Empowerment 部門で受賞しました。

■ 受賞対象の取り組み

当社は、パーム油サプライチェーンにおける強制労働や不適切な労働慣行といった課題に対し、従来のエンゲージメント手法から一歩進んだ変革型アプローチとして、労働環境改善プログラム (LTP) を推進しています。サプライチェーン上の労働者の権利を保護するだけでなく、サプライヤーの自主的な改善能力を高めることで地域社会全体の持続可能性向上に貢献している点が評価され、今回の受賞に至りました。

本プログラムは、以下の取り組みを通じて、サプライチェーン全体の人権尊重を実現することを目的としています。

- ・公正かつ透明性のある雇用契約の確保
 - ・労働者の安全・衛生、居住環境、苦情処理など包括的な労働環境の改善
 - ・サプライヤーの管理体制強化に向けた能力構築・継続的改善支援
- (詳細は https://www.fujioil.co.jp/sustainability/palm_oil/ をご覧ください。)

■ AREAについて

Asia Responsible Enterprise Awards (AREA) は、Enterprise Asia 主催のアジアを中心とした企業を対象に、持続可能性および社会的責任において優れた取り組みを表彰する国際的アワードです。Social Empowerment、Green Leadership、Corporate Governance など複数のカテゴリーで構成されています。(詳細については <https://enterpriseasia.org/area/> をご覧ください。)

インドネシアにおける持続可能なカカオ生産プロジェクト 「SIMPUL KAKAO」開始のお知らせ

不二製油株式会社は、インドネシア・チラチャップ県において、持続可能なカカオ生産を目指すプロジェクト「SIMPUL KAKAO (シンプル カカオ)」を開始しましたので、お知らせします。

SIMPUL KAKAO プロジェクトでは、産学官民の連携による包括的な支援を通じて、チラチャップ県におけるカカオの生産から品質向上までを支えるバリューチェーンの強化を図ります。具体的には、優良カカオ種苗の導入、アグロフォレストリーの実践、栽培管理や発酵技術の向上、カカオ農家の自立支援に向けたトレーニングプログラムなどを実施していきます。当社は、カカオの品質とサステナビリティを支える技術開発に取組むとともに、技術面・資金面で支援します。将来的には産出されるカカオ豆の購買も見据えており、持続可能な方法で生産された高品質カカオ豆の供給基盤づくりを通じて、カカオ原料における長期的なサプライチェーンのレジリエンス強化につなげてまいります。

今後も当社は、サステナブルな食の未来の共創に向けて、ステークホルダーと共に自然と共生する社会の実現に貢献してまいります。

https://www.fujioil.co.jp/assets/20260630/20260630_newsrelease.pdf



SIMPUL KAKAO

Collaboration for Sustainable High-Quality Cacao

3. 参考資料

リンク先

不二製油株式会社

IR情報サイト

<https://www.fujioil.co.jp/ir/>



統合報告書

<https://www.fujioil.co.jp/ir/library/integrated-report/>



Investor's Guide

https://www.fujioil.co.jp/en/pdf/ir/investorsguide_en.pdf



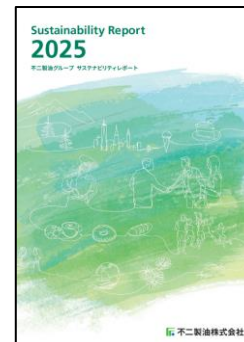
個人投資家の皆さまへ

<https://www.fujioil.co.jp/ir/individual/>



サステナビリティレポート

<https://www.fujioil.co.jp/sustainability/>



用語集

<https://www.fujioil.co.jp/ir/other/glossary/>

用語集

あ行 か行 さ行 た行 は行 ま行 ら行 英数字

コンパウンドチョコレート

チョコレートの主原料のカカオ、乳、砂糖、油脂のうち、油脂に植物性油脂からつくられるチョコレート用油脂を用いて作られたチョコレート。
チョコレート用油脂を用いることで速乾性・耐熱性などの機能を持ち、パンや洋菓子など、広い用途に用いられる。ココアパウダーの含量が少ないココアを併用して使用することが多い。

関連「チョコレート」「チョコレート用油脂」



不二製油株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。